

平成 20 年度第 2 回大学図書館近畿イニシアティブ能力開発専門委員会議事概要

1. 日 時 平成 20 年 9 月 2 日 (火) 14 時 00 分～17 時 10 分
2. 場 所 関西学院大学大阪梅田キャンパス (アプローズタワー14 階 1403 教室)
3. 出席者 (順不同、敬称略)

京都大学附属図書館	渡邊英理子
神戸大学附属図書館	石定 泰典
大阪府立大学学術情報センター	武藤 記子
京都府立大学図書館	道家 俊之
近畿大学中央図書館	鹿田 昌司 (主査)
大阪国際大学総合メディアセンター枚方図書館	尾崎 茂夫
花園大学情報センター (図書館)	福島 丞
京都産業大学図書館	近江由紀子
大阪大学附属図書館	稲葉 洋子
関西学院大学図書館	兄井 栄子

4. 議 事

1) 平成 20 年度基礎研修「初任者研修」について

前回議事概要の確認の後、配布資料に基づき初任者研修関係文書及びその他の事項について確認を行った。

① 募集要項について

応募資格として「3 年未満」を入れなければ初任者研修の意味がないのではないかと、能力開発事業アンケートでも「3 年未満」を条件としていたとの意見が出され、検討の結果、研修対象者の項目に「3 年未満」を盛り込むこととした。また、賛助会員も参加資格があることから、参加資格を 3 区分とすることとした。

② 応募用紙について

募集要項に合わせて、参加資格を 1～3 に変更することとした。

③ 日程表について

班別討議発表の終了はアンケート記入時間を考慮して 16:50 とし、学術情報総合センター見学を 17:00 に開始し 17:30 には終了するよう修正した。

④ 班別ミーティング、班別討議について

以下の各点が確認された。

- ・定員 60 人として、10 人×6 班の編成とし、6 つの班を担当する専門委員は鹿田 兄井、渡邊、福島を除く 6 人とし、班編成の際に担当を決める。
- ・班別ミーティングでは、自己紹介と班別討議での司会、記録、発表の役割分担を決めてもらう。班別ミーティングでの進行役、進行補佐役 (タイムキーパー) は班編成の際に割り当てる。
- ・班別討議の助言者は、当日の講師 3 名と運営委員からの 3 名で行い、不足すれば専門委員が兼ねる。
- ・班別討議の発表は、尾崎委員の司会により、各班からの発表、質疑の後、何人かの助言者の方からコメントをいただき、最後にどなたかに総括をお願いする。

コメント、総括をしていただく方には事前に依頼しておく。

- ・発表の際には、書画カメラが利用できない場合には、模造紙に討議の要点をまとめて発表してもらうこととする。

⑤ 挨拶について

開会挨拶は運営委員長に依頼する。閉会挨拶は適任者がいれば依頼するが、現時点では予定なし。

⑥ 各研修について

講師には質疑を含めて 60 分ということで依頼する。タイムキーピングが必要との意見があり、50 分、55 分経過したところで残り時間をお知らせすることとし、講師担当委員が主になって指示することとした。

⑦ アンケートについて

従来は職員数をアンケートで問うようにしていたが、応募用紙（機関別推薦書）に記述してもらうよう変更し、図書館調査の数字を記入してもらうこととする。また、参加資格を賛助会員を含めた 3 区分にすること、勤務年数を 10 月末で記述してもらうことが確認された。

⑧ 日程その他について

以下の各点が確認された。

- ・開催 2 週間前（10 月 23 日を予定）に大阪市立大学で専門委員会を開催し、掲示物、情報交換会会場の確認を行う。
- ・研修当日の集合時刻は一応 8:30 とするが、事前の専門委員会で確定させる。
- ・講師への原稿依頼は鹿田、兄井委員が行い、10 月 15 日必着とする。
- ・運営委員の援助依頼を運営委員長館へ要請する。
- ・受講者決定通知を出す際に、各館の紹介資料（館報、利用案内、要覧等）を持参してもらうようお願いし、会場に展示する。
- ・座席は特に決めず、資料を置いた席に着席してもらうこととする。
- ・講師に依頼する際に、情報交換会への参加等を確認する。
- ・情報交換会の人数変更がいつまで可能かを確認し、その前日までしかキャンセルできない旨、募集要項に明記する。
- ・2 日目の 3 人の講師には助言者の依頼をする。

以 上